1963年9月20日　第3種郵便物許可（毎月一日発行）

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

在日大韓基督教会
宣教100～110周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
（데살로니가전서 5:18）

2013年8月1日（木）　第721号
発行所　福音新聞社（1部100円）
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
☎03-3202-5398
発行人/金 武士・編集人/洪 性完
fukuinshinbun@kccj.jp（福音新聞）
info@kccj.jp（総会事務局）

2013年　平和メッセージ

日本基督教団　総会議長　石橋秀雄
在日大韓基督教会　総会長　金武士

「わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。」（ヨハネによる福音書10章10節）

2011年3月11日の東日本大震災により、神の造られた自然の前に、人間の積み上げてきたものがいかに無力であるかということを、あらためてわたしたちは知らされました。それと同時に、未曾有の大災害の中で、ひとりひとりの命がいかに貴いかということ、そしてその命を救い、つなぎ止めるために、わたしたちひとりひとりがいかに行動すべきかということを学ばされました。にもかかわらず、日本政府や経済界による昨今の急激な「原発推進政策」は、放射能によって汚染された故郷に未だ帰ることが出来ずにいる福島の人々を置いて、「人の命よりも経済が優先」とばかりに、原発を建て、動かし、売る循環へと、この国を回帰させています。より多くの利潤を手にするために、人間が制御することが出来ない力（原子力）に手を付け、その結果多くの命を危険にさらしているこの事態は、人間の傲慢と欲心が招いたものであると言わざるを得ません。

一方で、東北アジアでは領土問題をめぐる緊張関係が日に日に増しています。人の住まない小さな島々をめぐる日中間、日韓間の葛藤が、アジアにおける兄弟姉妹との関係を不安で険悪なものにしています。これらの小さな島々をめぐる問題を、政治的経済的に、未来に向けてさらに重要なパートナーとなっていく国々と仲違いをし、武器を構えてにらみ合うような悲しい事態と引き換えにするようなことがあってはなりません。お互いに国家としての利益を超えた、互いの命を守り、生を育み合う友好的な関係を保つために、よりよい知恵をもって和解を目指すべきです。

一部政治家たちによる心ない発言も相次いでいます。安倍晋三首相は「侵略の定義は定まっていない。国と国との関係で、どちらから見るかで違う」と国会答弁し、過去の日本によるアジア諸国の侵略を正当化する姿勢を見せました。また橋下徹大阪市長は「従軍慰安婦制度は、当時の軍の規律を維持するためには必要だった。日本だけでなく世界各国の兵士が、戦場において女性を性の対象として利用してきた」と、過去の日本による非人道的で卑劣な戦争犯罪を正当化する発言をしました。これらの発言は、国益や経済的利益のために人の命を奪い、多くの人々の人生や生活を踏みにじる「戦争」に軸足を置いた、国家主義的な発想から出ているものと言わざるを得ません。

このような、命の価値をなおざりにする発想は、過去の事柄だけに留まりません。現政権は、憲法の改定を目標としており、まず憲法第９６条を改めて、憲法の改正手続きを簡単にし、その後「戦争の放棄」、「戦力の不保持」、「交戦権の否認」をうたった、世界の人々が理想とすべき現憲法第９条を改変して、日本を再び「戦争を始めることが出来る国」にしようとしています。また、これを成し遂げる雰囲気を作り上げるため、先に述べたように、周辺諸国に対して強硬な態度を取ったり、北朝鮮の「ミサイル」発射に際して危機意識を過剰に煽り、「抑止力」という言葉を盾にして沖縄普天間基地の名護市辺野古への移設を強行しようとしています。これらは「今、日本が危ない」という間違った恐怖感を人々に植え付けようとする作為です。

日本基督教団と在日大韓基督教会は、このような時代であるからこそ、高らかに訴えます。ひとりひとりの命こそが何よりも大切である、ということ、そして、どんな時にも「人の命を引き替えにするほど大切なものなどあり得ない」ということです。人の命を犠牲にしてまで選択しなければならない発電方法などあり得ないし、人の命を危うくしてまで守るべき領土などありません。人の命と生活を踏みにじったどんな侵略や国家犯罪も正当化することはできないし、人の命を国家のために捧げさせ、犠牲にさせるどんな戦争も、決して再びあってはならないのです。なぜなら、わたしたちひとりひとりの命は、創造主なる神がご自分にかたどって造られ、また、わたしたちの救い主なるイエス・キリストがご自身の十字架の死をもってあがなわれた貴い命だからです。

ひとりひとりが命を受け、しかも豊かに受けるためにこの地上に来られた主イエスの思いを受け継ぎ、わたしたちは人々がそれぞれの命を豊かに育む世の中が実現することを目指します。それを阻むどんな力に対しても、わたしたちは声をあげていきます。

第52回 定期総会 案内

主題：聖霊によって証しする教会（ローマ９：１）
日程：2013年10月14日(月)11：00～
　　16日(水)15：00
会場：在日大韓基督教会　名古屋教会
（名古屋駅桜通口　徒歩10分）
〒450-0002
名古屋市中村区名駅２－39－11
☎ 052-541-1980 / FAX 052-541-1982

＜西部地方会＞　川西教会
按手執事・勧士任職式

去る６月30日（日）午後４時より、西部地方会の川西教会において、大山弘按手執事、金幸子勧士の任職式が、約60名が参席する中で執り行われた。

式の始めに、堂会長の朴斗熙牧師の司会で開会礼拝があった。讃美（204番）の後、李重載牧師（西宮弟子教会）の祈りと司会者の聖書朗読後、川西教会の信徒たちによる特別賛美「わがたましいの羊飼い」がささげられた。その後、前地方会長である梁榮友牧師（岡山教会）が「イエスの使徒任職」（マルコ3:13～16）という題で、恵み豊かで力強い説教をした。

引き続き、朴斗熙牧師の司式により按手執事・勧士の任職式が執り行われた。勧勉は李重載牧師が、祝辞は李聖雨牧師（明石教会）が述べた。その後、教会学校学生によるの特別讃美「笑顔の国」がささげられ、大山弘按手執事と金幸子勧士がそれぞれ答辞をした。

その後、方宗進名誉執事が祝電披露と挨拶をして、李聖雨牧師の祝祷ですべての式を終えた。

大山弘按手執事は、大阪府箕面市箕面生まれで、1977年5月に川西教会で朴昌煥牧師より受洗し、2008年から執事になって今日に至る。家族は大山京子執事(妻)と二男がいる。

金幸子勧士は、京都府北桑田郡栃本生まれで、1969年4月に李宗憲牧師より洗礼し、1979年1月に執事になって今日に至る。家族は方宗進名誉執事（夫）と四女がいる。

（報告：朴斗熙）

＜西南地方会＞ 福岡教会にて
音楽伝道集会開催

去る７月１４日（主日）午後４時から、福岡教会では西南地方会伝道部と福岡教会共催で、オンギジャンイ（옹기장이）讃美宣教団を招請して音楽伝道集会が、神さまの恵みのうちに導かれ、開かれた。礼拝に続き、オンギジャンイのすばらしい讃美と証しにより、多くの人々が恵みを受けた。

讃美コンサートの始まり、讃美が続くたびに、聴衆は「小さな思いや心が大きな神さまの愛に包まれ、慰めと喜びがあふれる聖霊の働きと臨在を実感した」。

この「オンギジャンイ宣教団」は、1987年にイエス・キリストの愛を必要とする全ての人々に、讃美を通して福音を伝え、伝道しようという願いとビジョンを持って、祈りの内に結成された若者の集まりである。以来、その働きは韓国国内のみならず海外においても、主の祝福のうちに大きく用いられて来た。今回のオンギジャンイ宣教団は18期として、音楽的な技術もさることながら真摯な主への信仰と献身の姿勢をもって奉仕に当たっている「讃美の伝道師」だった。

今回の伝道集会には、西南地方会の各教会と福岡市内にある日本の教会、そして近隣の大勢の人々が集まり、共に主の御恵みと讃美の喜びを分ち合える事が出来て心から感謝する。そして、「オンギジャンイ宣教団を始め、女性会の奉仕に至るまで、今回の音楽伝道集会に関わって下さった全ての方々に深く感謝とお礼を申し上げる。さらに、オンギジャンイ宣教団のこれからの活動と西南地方会の来年の伝道集会も祈りながら期待して行きたい」。（報告：辛貞仙執事、福岡教会）

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国ＹＭＣＡは皆様と共に歩みます。

東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24時間営業。10名様～200名様の会議及び宿泊研修（50名）も可能。
・スペースＹホール：200席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
・ＹＭＣＡ東京日本語学校【3ヶ月～2年、短期研修】
関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】

税　込	平　日	休・休前日
シングル	￥6,500	￥6,000
ダブル	￥10,500	￥9,700
トリプル	￥13,500	￥12,500
朝食・コーヒー￥200（宿泊者価格）		

在日本韓国ＹＭＣＡ http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/　＊会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。
東京韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒101-0064　東京都千代田区猿楽町2-5-5　☎03-3233-0611
関西韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒537-0025　大阪市東成区中道3-14-15　☎06-6981-0782

＜関東地方会＞ 東京第一教会 林鮮亨牧師委任式挙行

去る７月７日（主日）午後５時から東京第一教会の第 11 代目の牧師になる、林鮮亨牧師委任式が挙行された。臨時堂会長である金海奎牧師（東京教会）の司式で、韓在文牧師（副書記、水戸教会）の祈祷後、金柄鎬牧師（東京調布教会）が「耳のある者」（ヨハネの黙示録３:22）という題で説教した。

引き続き、関東地方会会長である金健牧師（川崎教会）の司式で牧師委任式がはじまり、姜章植牧師（書記、品川教会）が林牧師を紹介し、林牧師と教会員たちがそれぞれ誓約をした後、委任牧師になったことが宣布された。

勧勉は、金廣照長老（副会長、横浜教会）が述べた。そして東京教会からの讃美チームによる祝歌と韓聖炫牧師（前会長、西新井教会）・増田清世牧師（北赤羽キリスト教会）・全현명長老（韓国ソウル신촌聖潔教会）の順序で祝辞をした後、서승렬、허신희執事による祝歌があった。

金周烈長老による祝電披露と教会が林牧師のために用意したお土産が贈呈された後、林牧師が挨拶をした。引き続き、朴永浩長老が挨拶と広告をしてから、林牧師の祝祷で委任式は終了した。

東京第一教会は、1966 年２月７日に李기준牧師を中心として、コリアチャプルとういう名で、日本で住んでいる同胞と大使館の駐在員が中心となり、22 名ではじめた教会である。今まで何回かの建物移転を経て、1994 年８月 29 日に現在の建物に移転した（東京都板な市区坂下２－ 26 － 10）。３階建の建物を購入して現在に至るまでの何人かの牧師が代わったが、今回本国から林牧師を招聘した。

林牧師は、1965 年３月６日生まれで、ソウル長老会神学大学院と長老会神学大学神学大学院を卒業して、2001 年から伝道師、2002 年から 2012 年まで副牧師（京幾道하남東部第一教会）で奉仕した。家族は、安혜영宣教師（長老会神学大学教会音楽科卒）がいる。

（報告：林鮮亨牧師）

＜全国女性会＞　新大阪にて 第 59 回定期大会開催

去る７月１日 (月) ～２日 (火)、ホテルクライトン新大阪において、全国教会女性連合会の第 59 回定期大会と四局合同研修会が「つなげよう、命と祈りのきずな～教会の再生のために～」のテーマのもとに開催され、全国から代議員 70 名と女性会員らが参加、総勢 90 名の参加者があった。

開会礼拝では金必順総務より「女性たちの連帯」（出エジプト記 2:1-10）とのメッセージがあり、聖餐式が行われた。今大会では４年がかりの仕事となった憲章改定が行われ、改定案が大多数の賛同を得て通過した。

前大会では否決となったため、２年間をかけて各地方の大会ごとに会長、総務が巡回して説明、質問や意見を受け付け、訂正を加えてきたものである。その成果として代議員の理解と賛同を得ることができたのであろう。現代の実情にあわせスリム化と機能の充実化を目指して改正された「憲章」に基づき、改選された新体制のもと、よりよい女性会を目指していきたい。

また、役員改選があり、新しい体制で第 59 会期がスタートした。2007 年６月より総務の重責を担ってきた金必順牧師（堺教会）が辞任し、後任として朴栄子牧師（豊中第一復興教会と兼任）が承認された。

新役員は以下の通り。会長：金英淑（大阪）、副会長：金貞子（小倉）、書記:崔美恵子（武庫川）、副書記:宋福姫（名古屋）、会計：金恵玉（川崎）、副会計：文仙伊（大阪）、財政局長：鄭仁仙（岐阜）、教育局長：曺永恩（京都）、宣教社会局長：沈貞児（神戸）、電話相談局長：林芳子（大阪）、会計監査：許清子（京都）、朴英子（神戸）

また、研修会においては、洪性完牧師（総幹事）より「KCCJ の問題点を探る」、金錦順長老（前宣教局長）より「教会の再生のために」、朴栄子総務より「風通しのよい教会を目指して～ふたつの提言～」という発題があった。その後、同じテーマでのグループディスカッションと全体討議もあり、活発な議論が繰り広げられた。

閉会礼拝は信徒委員長の中江洋一牧師（広島教会）より「安心して行きなさい」（マルコ 5:21-34）と題しての説教がなされ、２日間の大会・研修会は幕を閉じた。

（報告：朴栄子、全国女性会の新総務）

全国長老会研修会　「大阪にて開催」　“総会に連なる一体感の回復”

“総会に連なる一体感の回復”の主題の下、全国長老研修会が7月14日から15日まで、ホテル・クライトン新大阪で開催された。全国から総勢72名もの長老及び全国女性会役員が出席した。

第1日目は夕食後、開会礼拝からのスタートとなった。総会長の金武士牧師より、「モーセの懇願」（民数記10：29－32）というメッセージが与えられた。その後、KCC名誉館長の李清一牧師より“KCCJの苦難と和解の歴史”というテーマで基調講演があった。1．在日大韓基督教会の創設と歩み：①戦前の歩みから（散らされた者への宣教）、②戦後の歩みから（残された者の使命）、③日本基督教団との「協約」・日本キリスト教会との「宣教協約」締結、④KCCJ固有の特徴。2．外部から見た「在日大韓基督教会の存在」。3．宣教課題について（箴言29：18「幻なき民は滅ぶ」）という順で、KCCJ100年の歴史を1時間で素晴らしく要約された。過ぎし100年の間、ディアスポラ（散らされた民）としての私たちの歩みを見守り、導いてくださった神に感謝する、という言葉で講演を閉じられた。KCCJの尊い歴史を一同が共有できたことはとても意義深いことであった。

二日目は、朝祷会で林芳子長老が証しをされ、両親の思い出と自身の青春時代を通じての信仰の成長過程が語られた。朝食の後、五つの分団に別れ、分団討議に入った。総会が一体感を喪失している問題、総会財政問題・年金問題、KCCJ憲法の精神を理解する、牧師の招聘・移動問題、牧師視務年数問題・長老の任期問題、総会神学校の運営など、多岐にわたって討論された。昼食後、青年会全国協議会に献金を（13万円）捧げ、金英淑新任女性会会長の挨拶があった。

引き続いて全体討論に入った。1．各地方会長老会長から地方会報告があった。2．金石水総会財政部長から、総会財政の現況と新しい総会負担金徴収方法の問題点が報告された。3．全三郎総会年金委員長から、総会年金の苦しい運営状況が報告された。4．鄭然元総会神学校校長より、次年度から総会神学校の事業が拡大することの説明と、併せて神学校負担金納入に関する再度の依頼があった。

上記の各報告・問題に関し、会場からも熱のこもった質問や議論があった。閉会礼拝で朴栄子全国女性会総務から、「良くなりたいか」（ヨハネ5:1-9a）という主題でメッセージがあった。会議中のすべての奏楽を金必順牧師が担当した。

二日間を通して、多くの報告がなされ、様々な議論が交わされた。すぐには解決できない案件もたくさんあったが、問題点をともに認識できたことにより、いずれ解決への道のりが示されることと思う。また今ある対立も、主の導きにより、近い将来必ず和解がなされることと信じる。熱を帯びた会議であっても、全てのプログラムを讃美で始め、祈りで終えることができたのは恵みであった。

何よりも、試練と困難があるときに、長老たちが集まることができたこと自体が一体感の回復そのものであると思う。

（報告：全国長老会会長、林英宰）

韓日対照讃美歌

新しく印刷しました。
ご購入希望の方（各教会）は、総会事務所までお問い合わせ下さい。

1冊：2，000円
（総会教会価格。黒色のみ）

総会事務所
(03－3202－5398)

豊かな味、豊かな心。

妻家房
SAIKABO
代表取締役　呉　永錫（東京希望キリスト教会　長老）
四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100

福音新聞
THE GOSPEL NEWS

재일대한기독교회
선교 100-110 주년 표어
감사의 백년 , 소망의 백년
(데살로니가전서 5:18)

한글판

2013 년 평화 메시지

재일대한기독교회 총회장 김무사
일본기독교단 총회의장 이시바시히데오

[내가 온 것은 양으로 생명을 얻게 하고 더 풍성히 얻게 하려는 것이라](요한복음 10 장 10 절)

2011 년 3 월 11 일 동일본 대지진에 의해 하나님이 만드신 자연 앞에서 우리는 인간이 쌓아온 것들이 얼마나 무력한가 하는 것을 새롭게 깨닫게 되었습니다 . 이와 동시에 아직까지 인간이 만나지 못했던 대참사 속에서 개개인의 생명이 얼마나 귀한 것인가 , 그리고 그 생명을 구하고 유지하기 위해서 한 사람 한 사람이 어떻게 행동해야 하는가 하는 것을 배우게 되었습니다 .

그럼에도 불구하고 일본 정부와 경제계에 의해 최근에 급격해진 [원전 추진정책] 은 방사능에 의해서 오염 된 고향으로 아직도 돌아가지 못하고 있는 후쿠시마 사람들을 놔두고 [사람의 목숨보다 경제가 우선] 이라는 듯이 원전을 세우고 팔려는 환경으로 이 나라를 회귀시키고 있습니다 . 더 많은 이윤을 손에 넣기 위해서 인간이 제어 할 수 없는 힘 (원자력) 에 손을 댄 결과 많은 생명을 위태롭게 하는 이 사태는 인간의 오만과 욕심이 초래 한 것이라고 말할 수 밖에 없습니다 .

한편 , 동북 아시아에서는 영토 문제를 둘러싼 긴장 관계가 나날이 늘어나고 있습니다 . 사람이 살지 않는 작은 섬들을 둘러싼 중국과 일본 , 한국과 일본 사이의 갈등이 아시아에 있어서의 형제 자매와의 관계를 불안하고 험악하게 만들고 있습니다 . 이러한 작은 섬들을 둘러싼 문제가 정치적 경제적으로 미래를 향해 더 중요한 파트너가 되어가는 나라들과 이간질을 하기도 하고 , 무기를 구축하여 서로 노려보는 것과 같은 슬픈 사태로 바꾸는 일들이 있어서는 안됩니다 . 서로가 국가로서의 이익을 뛰어넘어서 서로의 생명과 삶을 보호하고 육성하는 우호적인 관계를 유지하기 위해서 더 나은 지혜를 가지고 화해를 목표로 해야 합니다 .

일부 정치인들의 어리석은 발언도 잇따르고 있습니다 . 아베 신조 총리는 "침략의 정의는 정해져 있지 않다 . 나라와 나라와의 관계에서 어느 쪽에서 보는가에 따라서 다르다" 고 국회에서 답변하였으며 , 과거 일본에 의한 아시아의 여러 국가의 침략을 정당화하는 자세를 보였습니다 . 또한 하시모토 토오루 오오사카 시장은 "종군 위안부 제도는 당시의 군 기강을 유지하기 위해서는 필요했다 . 일본뿐만 아니라 세계 각국의 군인이 전장에서 여성을 성적인 대상으로 이용해 왔다" 라면서 과거 일본의 비인도적이고 비열한 전쟁 범죄를 정당화하는 발언을 했습니다 . 이러한 발언은 국익이나 경제적 이익을 위해서 사람의 목숨을 빼앗고 , 많은 사람들의 삶과 생활을 짓밟는 '전쟁' 에 중심을 둔 국가주의적 발상에서 나온 것이라고 밖에 말할 수 없습니다 .

이처럼 생명의 가치를 경시하는 발상은 과거의 일에만 국한되지 않습니다 . 현 정권은 헌법개정을 목표로 하고 있으므로 , 먼저 헌법 제 96 조를 개정하여 헌법 개정절차를 간단하게 한 후 [전쟁의 포기], [전력 불 보유], [교전권의 부인] 을 하여 세계 사람들이 이상으로 해야 할 헌법 제 9 조를 수정하여 , 일본을 다시 '전쟁을 시작할 수 있는 나라' 로 하려고 합니다 . 또한 이것을 달성하기 위한 분위기 조성을 위해 , 앞에서도 언급 한 바와 같이 , 주변국에 대해 강경한 태도를 취하기도 하고 , 북한의 미사일 발사에 대하여 과도하게 위기의식을 부채질하며 , '억지력' 이라는 말을 방패로 하여 오키나와 후 텐마기지를 나고시 헤노코로 이전을 강행하려 하고 있습니다 . 이러한 것들은 "지금 일본이 위험하다' 라는 잘못된 공포감을 사람들에게 심으려고 하는 작위입니다 .

일본 기독교단과 재일대한기독교회는 이러한 시대이기 때문에 더욱 소리 높여 호소합니다 . 한 사람 한 사람의 생명이야말로 무엇보다도 중요하다는 것 , 그리고 어떠한 때에라도 "사람의 생명을 바꿀 만큼 중요한 것은 있을 수 없다" 는 것입니다 . 사람의 생명을 희생하면서까지 선택하지 않으면 안 되는 발전 방법 등은 있을 수 없으며 , 사람의 생명을 위태롭게까지 하면서 지켜야 할 영토 등은 없습니다 .

사람의 생명과 삶을 짓밟은 어떠한 침략이나 국가 범죄도 정당화 될 수 없으며 , 사람의 목숨을 국가를 위해 헌신하게 희생시키는 그 어떤 전쟁도 결코 다시 일어나서는 안됩니다 . 왜냐하면 우리 한 사람 한 사람의 생명은 창조주 하나님의 형상대로 창조되었으며 , 또한 우리의 구원자이신 예수 그리스도께서 자신의 십자가의 죽음으로 구원받은 귀한 생명이기 때문입니다 .

한 사람 한 사람이 생명을 받았습니다 . 더욱 더 풍부하게 받기 위하여 이 땅에 오신 예수님의 뜻을 계승하여 , 우리는 사람들이 각각의 생명을 풍성하게 키워 나가는 세상이 실현되는 것을 목표로 합니다 .

이것을 막는 그 어떤 힘에 대해서도 우리는 목소리를 높여나갈 것입니다 .

제 52 회 정기총회 안내

주제 : 「성령을 힘입어서 증거하는 교회」 로마 9:1
일정 : 2013 년 10 월 14 일 (월) 11 시 ~
16 일 (수) 15 시
회장 : 재일대한기독교회 나고야교회
(나고야역 사쿠라토오리구치 도보 10 분)
〒 450-0002
名古屋市 中村区 名駅 2-39-11
☎ 052-541-1980 / FAX 052-541-1982

<서부지방회> 카와니시교회 안수집사, 권사 임직식 거행

지난 6 월 30 일 (일) 오후 4 시부터 서부 지방회의 카와니시 교회에서는 약 60 명이 참석 한 가운데 오오야마 히로시 안수집사와 김행자 권사의 임직식이 거행되었다.

먼저 당회장 박두희목사의 사회로 개회예배가 있었다. 찬송을 부른 후에 이중재 목사 (니시노미야 제자교회) 의 기도에 이어서 사회자가 성경봉독을 하고 카와니시교회 성도들이 "내 영혼의 목자" 라는 제목으로 특송을 하였다. 그리고 전 지방회장인 양영우목사 (오카야마교회) 가 "예수의 사도 임직" (막 3:13-16) 이라는 제목으로 설교했다.

이어서 박두희 목사의 사식으로 안수 집사 · 권사의 임직식이 거행되었다. 권면은 이 중재목사가 하였으며, 축사는 이성우목사 (아카시교회) 가 각각 전했다. 그 후, 교회 학교 학생들이 '미소의 나라' 라는 제목으로 특별 찬송에 이어서 오오야마히로시 안수 집사와 김행자권사가 각각 답사를 했다. 그런 다음 방종진 명예 집사가 축전 피로가 인사를 하고 이성우목사의 축도로 모든 식을 마쳤다.

금번에 임직을 받게 된 오오야마히로시 안수집사는 오오사카 (大阪府箕面市箕面) 출생으로, 1977 년 5 월에 카와니시 교회에서 박창환 목사로부터 세례를 받았으며, 2008 년부터 집사가 되어 오늘에 이른다. 가족으로는 오오야먀쿄오꼬 집사 (아내) 와 두 아들이 있다.

김행자 권사는 쿄오토 (京都府北桑田郡栃本) 출생으로, 1969 년 4 월에 이종헌목사로부터 세례를 받았으며, 1979 년 1 월에 집사가 되어 오늘에 이른다. 가족으로는 방종진 명예집사 (남편) 와 네 명의 딸이 있다.

(보고 : 박두희)

<서남지방회> 후쿠오까교회에서 옹기장이 초청, 전도집회

지난 7 월 14 일 (주일) 오후 4 시부터 후쿠오카교회에서 서남지방회 전교부와 후쿠오카교회 공동 주최로, 옹기장이 찬양 선교단을 초청하여 음악 전도집회가 하나님의 은혜 가운데 개최되었다. 1 부로 예배를 마친 후에, 2 부는 옹기장이의 멋진 찬양과 간증을 통하여 많은 사람들이 은혜를 받은 후, 3 부에서는 즐거운 교제와 저녁 식사를 함께하였다.

옹기장이의 찬양 콘서트의 시작과 더불어 찬송이 이어질 때마다 청중은 "인간의 작은 생각과 마음이 큰 하나님의 사랑에 싸여 위로와 기쁨이 넘치는 성령의 역사와 임재를 실감했다" 고 말했으며, "아침 안개같은 짧은 인생, 우리보다 먼저 모든 것을 알고 계시는 하나님께 모든 것을 맡기고, 더러운 죄를 씻어 주시기 위해 세상에 오셔서 십자가에 죽으신 하나님의 귀한 사랑에 찬양을 드리면서 세상의 빛과 소금이 되어 살아가는 인생이 되고 싶다 "고 했다.

옹기장이 선교단은 1987 년에 예수 그리스도의 사랑을 필요로 하는 모든 사람들에게 찬양을 통해 복음을 전하고 전도하려는 소원과 비전을 가지고 기도로 결성 된 젊은이들의 모임이다. 이후 그 사역은 국내뿐만 아니라 해외에서도 주님의 축복 가운데서 크게 쓰임을 받아 왔다. 이번에 온 옹기장이 선교단은 18 기인데, 음악적인 기술은 물론이지만 진지한 믿음과 헌신의 자세를 가지고 봉사에 임하는 〈 찬양의 전도사 〉 였다.

그리고 이번 전도집회에는 서남지방회의 각 교회와 더불어 후쿠오카 시내에 있는 일본 교회, 그리고 많은 이웃 사람들이 모여서 함께 주님의 은혜와 찬양의 기쁨을 나눌 수 있었기에 진심으로 감사한다. 그리고 "옹기장이 선교단을 비롯하여 여성회의 봉사에 이르기까지 이번 찬양 전도집회에 참여 해 주신 모든 분들에게 깊은 감사를 드린다. 또한 옹기장이 선교단의 앞으로의 활동과 서남 지방회의 내년도 전도집회를 기도하면서 기대를 하고 싶다. "

(보고 : 신정선집사, 후쿠오카교회)

在日コリアン文化の創造と多文化共生社会を目指して、在日本韓国ＹＭＣＡは皆様と共に歩みます。

東京◆ホテル：東京で一番安く便利な宿泊研修施設。フロントは日・韓・英語に対応、24 時間営業。10 名様～ 200 名様の会議及び宿泊研修（50 名）も可能。
・スペースＹホール：200 席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに対応。
・韓国文化教室【チャング・カヤグム・舞踊】・韓国語講座・各種こどもクラス
・ＹＭＣＡ東京日本語学校【3 ヶ月～ 2 年、短期研修】
関西◆にほんご教室《新規開講・募集中》韓国民俗芸術科【舞踊・チャンゴ】

税　込	平　日	休・休前日
シングル	¥6, 500	¥6, 000
ダブル	¥10, 500	¥9, 700
トリプル	¥13, 500	¥12, 500
朝食・コーヒー¥200（宿泊者価格）		

在日本韓国ＹＭＣＡ http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/　＊会員及び教職者割引有。詳しくはお問い合わせください。
東京韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒 101-0064　東京都千代田区猿楽町 2-5-5　☎ 03-3233-0611
関西韓国ＹＭＣＡアジア青少年センター　〒 537-0025　大阪市東成区中道 3-14-15　☎ 06-6981-0782

<관동지방회> 동경제일교회 임선형목사 위임식 거행

지난 7 월 7 일 (주일) 오후 5 시부터 동경제일교회 제 11 대인 임선형목사 위임식 감사예배가 거행되었다. 임시당회장 김해규 목사 (동경교회) 의 사회로 한재문 목사 (부서기, 미토교회) 의 기도 후에 김병호목사 (동경쵸후교회) 가 [귀 있는 자](요한계시록 3:22) 라는 제목으로 설교하였다.

목사위임식을 관동지방회 회장인 김 건 목사 (카와사키교회) 의 사식으로 시작되어 강장식 목사 (서기, 시나가와교회) 가 임목사 소개와 서약을 한 후에 위임목사가 된 것이 선포되었다.

권면은 김광조 장로 (장로부회장, 요꼬하마교회) 가 하였으며, 동경교회 찬미팀의 축하연주 후, 한성현목사 (니시아라이교회) 와 増田清世 (마스다키요세) 목사 (北赤羽그리스도교회), 전현명장로 (서울신촌성결교회) 의 순서로 축사를 하고, 서승렬 허신희 집사가 축가를 부르고, 김주열 장로의 축전피로와 교회에서 위임목사에게 선물을 증정한 후에 임선형 목사는 답사를 하였다. 이어서 박영호장로의 인사 및 광고와 임선형목사의 축도로 위임식을 마치고 축하 만찬회를 가졌다.

동경제일교회는 1966 년 2 월 7 일에 이기준목사를 중심으로 코리아 채플이라는 이름으로 일본에 살고 있는 동포와 대사관 주재원이 중심이 되어 22 명으로 시작되었다. 그 동안 몇 차례의 건물 이동이 있었지만 현재 사용하고 있는 교회당 건물로 옮긴 것은 1994 년 8 월 29 일이었다 (東京都板橋區 坂下 2-26-10). 그 당시 3 층 건물을 구입하여 현재에 이르기 동안 목회자들의 변동도 있었다. 그런 와중에 금번에 임선형목사를 본국에서 청빙하여 제 11 대 목사로 위임을 받게 되었다.

임목사 (1965 년 3 월 6 일생) 는 서울 장신대 신학교 신학원과 장로회 신학대학 신학대학원을 졸업하였으며, 2003 년 3 월에 대한예수교장로회 서울 동남노회에서 목사 안수를 받았다. 2001 년부터 2 년간 산흥일교회에서 전임전도사, 2002 년부터 2012 년까지 하남 동부제일교회에서 부목사로 봉사하고, 지난해 7 월에 PCK 파송선교사로 일본으로 와서 동경제일교회에서 목회를 하고 있었다.

가족으로는 안혜영 선교사 (장로회신학대학 교회 음악과) 가 있으며 함께 힘을 합하여 일본에서의 선교사역에 충성스럽게 섬김의 자세로 임하고 있다. (보고 : 임선형목사)

<전국여성연합회> 정기대회 4 국 합동연수회와 함께 개최

지난 7 월 1 일 (월) ~ 2 일 (화) 에 클레이튼 신오사카 호텔에서 전국 교회 여성 연합회 제 59 회 정기대회와 4 국 합동 연수회가 "함께 가는 생명과 기도의 인연 - 교회 재생을 위해 -" 의 주제로 개최되었다. 전국에서 대의원 70 명과 여성 회원들이 참가하여 총 90 명이 참가하였다.

개회 예배에서는 김필순목사 (총무) 가 "여성들의 연대" (출애굽기 2:1-10) 라는 제목으로 설교를 한 후에 성찬식이 거행되었다.

이번 대회는 4 년에 걸쳐서 진행되어 온 헌장 개정이 이루어져서 개정안은 대다수의 찬성으로 통과되었다. 그리고 지난 대회에서 부결 되었기 때문에 2 년간에 걸쳐서 각 지방회마다 회장과 총무가 순회하며 설명하고 질문을 받고 의견들을 수렴하여 수정을 해 온 개정안이다. 이러한 성과로 대의원들의 이해와 찬성을 얻을 수 있었던 것이다. 현대의 실정에 맞추어 슬림화와 기능의 충실화를 목표로 개정 된 '헌장' 에 따라 새로 선출 된 새로운 체제하에 더 나은 여성회가 되어가고자 하였다.

또한 임원 개선이 있었는데, 새로운 체제로 제 59 회기가 시작되었다. 2007 년 6 월부터 총무의 중책을 맡아온 김필순목사 (사카이 교회) 가 사임하고, 후임으로 박 영자목사 (토요나까제일부흥교회 담임목사와 겸임) 가 승인되었다.

새 임원은 다음과 같다.

〈 회장 김영숙 (오오사카), 부회장 김정자 (코쿠라), 서기 최 미에꼬 (무코가와), 부서기 송복희 (나고야), 회계 김혜옥 (카와사키), 부회계 문선윤 (오오사카), 재정국장 정인선 (기후), 교육국장 조영은 (쿄오또), 선교사회국장 심정아 (코오베), 전화상담국장 임방자 (오오사카), 회계감사 허청자 (쿄오토), 박영자 (코오베)〉

금번 연수회에서는 홍성완목사 (총간사) 가 "KCCJ 의 문제를 찾아본다", 김금순장로 (전, 선교국장) 가 "교회의 재생을 위해", 박영자총무가 "통풍이 좋은 교회를 목표로 - 두 가지의 제언 -" 이라는 제목으로 발제가 있었다.

그리고 나서 동일한 주제에 대한 그룹 토의 및 전체 토의도 가지면서 활발한 논의가 펼쳐졌다. 각 교회와 각 지방회에서 여러 가지 문제가 일어나고 있는 가운데 여성 회원들의 토론은 그야말로 열띤 것이었다.

폐회 예배는 신도위원장인 나까에 요우이치목사 (히로시마교회) 가 "안심하고 가라 "(마가 5:21-34) 라는 제목으로 설교한 후에 이틀 간의 대회와 연수회는 막을 내렸다.

(보고 : 박영자, 신 여성회 총무)

전국장로회연수회 "총회로 이어지는 일체감의 회복" 주제로 오오사카에서 개최

전국 장로회연수회가 "총회로 이어지는 일체감의 회복" 이란 주제로, 지난 7 월 14 일부터 15 일까지 크라이튼 신오오사카 호텔에서 개최되었다. 전국에서 총 72 명의 장로 및 전국 여성회 임원들이 참석했다.

첫 째 날은 저녁 식사 후에 개회 예배에서 시작되었다. 총회장 김무사목사가 "모세의 호소" (민수기 10:29-32) 라는 제목으로 설교한 후에 KCC 명예 관장인 이청일목사가 "KCCJ 의 고난과 화해의 역사" 라는 주제로 기조 강연을 하였다.

이목사는 〈 재일대한 기독교회의 창설과 걸음 〉, 〈 외부에서 본 재일대한기독교회의 존재 〉, 〈 선교 과제에 대해 〉 (잠언 29:18 "환상 없는 백성은 멸망")〉 이라는 순으로 KCCJ 100 년의 역사를 요약하여 전하였다.

이어서 이목사난 마지막으로 [지난 100 년 동안 디아스포라로 우리의 행보를 지켜 보며 이끌어 주신 하나님께 감사한다] 고 고백하였다.

둘째 날은 아침기도회에서 임방자장로가 간증을 통하여 부모님에 대한 추억과 자신의 청춘 시대를 통해 신앙의 성장 과정을 밝혔다. 아침 식사 후, 다섯 분단으로 나뉘어 분단 토의를 하였다. 지금 총회가 일체감을 상실하고 있는 문제, 총회 재정 문제와 연금문제, KCCJ 헌법 정신에 따른 목사 청빙과 이동 문제, 목사시무기간 문제 와 장로의 임기문제, 총회 신학교 운영 등 다방면에 걸쳐서 토론되었다.

점심 식사 후에는 청년회 전국협의회를 위하여 헌금을 하였으며 (13 만엔), 김영숙 신임 전국 여성회 회장의 인사가 있었다. 이어서 전체 토론에 들어갔다.

1. 각 지방회 장로 회장 지방회보고.

2. 김석수 총회 재정부장이 총회 재정의 현황과 새로운 총회 부담금 징수 방법의 문제점을 보고.

3. 전삼랑 총회 연금위원장이 연금의 어려운 운영 상황을 보고.

4. 정연원 총회 신학교 교장이 내년도부터 총회 신학교의 사업이 확장된다는 설명과 함께 신학교 부담금 납입에 대한 의뢰가 있었다.

이러한 각 보고와 여러 문제들에 대하여 참석자들의 열띤 질문과 토론이 있었다.

폐회 예배는 박영자목사 (전국 여성회 총무) 가 "낫고자 하느냐" (요 5:1-9a) 라는 주제로 설교를 하였으며, 모든 회의와 예배의 반주는 김필순목사가 봉사하였다. 해결의 실마리들이 나타날 것으로 믿는다.

이틀간의 연수회를 통하여 많은 보고가 다양한 논의가 이루어졌다. 즉시 해결할 수 없는 문제들이 많이 있었지만, 여러 문제점을 함께 인식 할 수 있었다는 점에서 또한 지금의 대립도 주님의 인도에 의해, 가까운 장래에 반드시 화해가 이루질 것으로 믿는다.

열띤 회의였는데도 모든 프로그램을 찬송으로 시작하고 기도로 마칠 수 있었던 것은 은혜였다. 무엇보다도 시련과 어려움이 있을 때 장로들이 함께 모일 수 있다는 것 자체가 일체감 회복 그 자체라고 생각한다.

(보고 : 전국 장로회 회장, 임영제)

한일 대조 찬송가

통일찬송가를 좀더 인쇄되었습니다. 구입을 희망하시는 분과 교회는 총회사무실로 연락해 주십시오.

1권 : 2, 000 엔

(총회 소속 교회와 교인들 가격이며, 흑색 뿐입니다.)

총회사무실
(03-3202-5398)

8 월호부터 단계적으로 한국어와 일본어 판으로 구분하여 발행합니다

※総会事務所夏期の休み：8 月 12 日～ 16 日

豊かな味、豊かな心。

妻家房
SAIKABO

代表取締役 呉 永錫 (東京希望キリスト教会 長老)

四谷本店：東京都新宿区四谷3-10-25 Tel. 03-3354-0100